

第8回 【特別対談企画】

安岡活学塾 銀座・寺子屋こども論語塾 専任講師 安岡定子氏 甦れ、日本の精神文化 いま、武士道に学べ



平成22年12月2日(木) 高経営ビル本館にて

安岡定子氏 profile 安岡正篤師の次男・正泰氏の長女。現在、安岡活学塾の講師として「銀座寺子屋こども論語塾」「文の京こども論語塾」等、都内の講座以外に宮城県他、全国各地で定例講座は、14講座に及び、幼い子どもたちやその保護者らに『論語』を講義して話題を集めている。著書には『素顔の安岡正篤一わが祖父の思い出』『縁で見る“論語”』があり、『親子で楽しむこども論語塾1・2・3』は、合計25万冊以上のベストセラーとなっている。

安岡 今の事例に関しては、私も驚きましたが、これ程ではないと思いましたが、解り来ないと思いましたが、同じ様な話を身近で聞く事もあります。言われる様にほんの一部で、それが一部の質の変化が著しいような気がします。どこに原因があるか探るのは難しいですが、例えば論語の観点から見て、昔は論語というものが古く日常的に身近にあった、学ぶという意識がなかったも自然に身に付いていた。 マツカサ1サー司令が「日本において修身教育は必要ない」と言ったところからして、戦後アメリカ式の考え方や教育が入ってきた時から変わってきたというの、スタートラインの様な気がします。 安岡 マツカサ1サー司令が「日本において修身教育は必要ない」と言ったところからして、戦後アメリカ式の考え方や教育が入ってきた時から変わってきたというの、スタートラインの様な気がします。 安岡 マツカサ1サー司令が「日本において修身教育は必要ない」と言ったところからして、戦後アメリカ式の考え方や教育が入ってきた時から変わってきたというの、スタートラインの様な気がします。

安岡 本日は対談をさせて頂けることを、非常に嬉しく思います。早速ですが、先生は全国各地でこども論語塾を開催されていますが、子供達に論語を教えられることになった動機と、その反響について教えてください。 安岡 昔は、あの祖父がいて、小さな頃から家庭に論語があつて、それが良かったと思感出来たら、子供たちに論語を教えるようになったと思つて、元々漢文も好きだったので、論語にも興味がありました。が、それは「普通に学校の授業で習って興味を覚えたから」です。大学では専門の学科にも行きましたが、結婚して普通に家庭を持って子育てが、段落した頃に「もう一回、論語を学びたい」という気持ちで自然と湧いてきて、そこで論語に再会したという感じでした。 安岡 そうして、愛護生として学び直している時に、今のこども論語塾の主催者となる森岡さんに出会ったんです。森岡さんは競技スキーで青少年の指導をしておられ、競技の世界に身を置いていたけれど、特に若い子たちに技術とか勝負負けや、なく精神世界を持ってほしい」と考えて、私と同じ講座を受講されたいました。そこで、「僕がクラスを企画するの、定子さんに講師をお願いできませんか」とお願いして頂きました。 安岡 安岡先生は、漢詩とか漢文に元々興味があつたから、論語にもスツと入っていたのではありませんか。 安岡 そうかも知れません。まず好きだったというのが一番大きかったと思います。 安岡 十代で大きな病気を患って、一年近く自宅療養した期間がありました。今思えば大した事ではないんですけど、その時期の中にも本人には重苦しい時期で、特に論語を読んで心を支えようとは思いませんでしたが、色々考えた本を讀んだ時期がそこに集中しています。 安岡 またその頃は、まだ祖父が健在に家にいましたから、祖父の存在は大変良かったと思つた。祖父がすくすくゆったり穏やかに「一年病気が遅れたら、一年長生きすればいいじゃないか」といふそんなスタンスだったので、それでちょっと救われた。その時は漠然とですが、そういう風にいられる祖父の精神世界はどこから来ているのかというのに興味がありましたね。 安岡 そうですか、なぜ一番最初にこの質問をさせて頂いたかという、やはり安岡定子さんといえ、安岡正篤先生のお孫さんであつて、一緒に生活する中で論語を始めたんじゃないかなと思つたんです。

安岡 昔、我々の子供の頃は日本の偉人物語を読みました。安岡正篤先生の本を読んでいたら、結構昔の人の名前が出てきますが、そこはどんな意味があつたのでしょうか。 安岡 伝記とか偉人伝を読むというの、一つは歴史を知るといふ事になると思うんですけど、それから祖父は「人物に学ぶほど、色んなものを学べる事は無い」と言っていました。ですから、後世に名を残している人の人生を読むことで、その人の生き様も分かります。その時代の人が何が重要で、考え、逆になら、時代が何を学んだのかを知ることが出来るので、学ぶ事がとても多かったです。 安岡 十人の偉人伝を讀んだら十人の人生を知ることが出来るわけ、そういう意味で興味もあつた、自分の精神世界を作っていく上で過去に生きただけの人に学ぶという事が、非常に大切だったんじゃないかと思つています。 安岡 本を読むと、その人の大体的な考え方が分かりますよね。 安岡 学んで来たことを、過去の人ほどなんぶうに実践してきたのか知ることが出来たかも知

安岡 祖父が「小さい子が幼いから幼稚園というの、大人を感ぜられる場面がいくつもあり、指示されない出来事がないのは、自主的に出来事への助けを要するとか、理屈ではなく自然に理解して、それを何の気負いもなく行動に移せる子になっていくの、それは嬉しく思います。 安岡 論語で一番大切なのは、仁（思いやり）と繰り返して、二十五年前の孔子先生は「思いやりのない人はダメなんだ」と弟子に言っていました。どんなに勉強ができて知識があつても、それを自分の生活に活かさない人はダメだし、それだけで仁がない人もダメだし、人間が一番大切なものは必ず仁がベースにあつて、その上に知識とか技能だとか、そんなものが重なっていくから、「仁を忘れちゃダメだ」という事と、「自分で考えられる人になりなさい」ということ。二つは、いつも言っています。 安岡 山口県の高尾小学校の生徒は「二期期」で、吉田松陰の言葉を毎朝継続して唱和するんです。というところは、一年間三つ、六年間で合計十八の言葉を覚える訳ですが、その言葉を見てもいいんですが、非常に難しいんです。しかし、中学までに覚えた言葉は、一生忘れません。だから、子供の時の知識は大事なんですよ。 安岡 先日新聞に、子供が万引きで補導された記事がありまして、調査を取って警察から子供を迎えに来るよう電話をかけた際の親御さんの返事は「万引きで逮捕されたのだから、何が理由をつけて止めさせようとしたんです。私の世代は、ギリギリ親が戦争体験をしていないが、ちよと若くないと親御さんも戦争を知らないと戦後世代です。そうすると、今の幼稚園や小学生の子の祖父も戦争を知らない世代で、触れることがより一層減りまして、私たちが、例え学校でなくても、祖父や父から彼ら

安岡 昔、我々の子供の頃は日本の偉人物語を読みました。安岡正篤先生の本を読んでいたら、結構昔の人の名前が出てきますが、そこはどんな意味があつたのでしょうか。 安岡 伝記とか偉人伝を読むというの、一つは歴史を知るといふ事になると思うんですけど、それから祖父は「人物に学ぶほど、色んなものを学べる事は無い」と言っていました。ですから、後世に名を残している人の人生を読むことで、その人の生き様も分かります。その時代の人が何が重要で、考え、逆になら、時代が何を学んだのかを知ることが出来るので、学ぶ事がとても多かったです。 安岡 十人の偉人伝を讀んだら十人の人生を知ることが出来るわけ、そういう意味で興味もあつた、自分の精神世界を作っていく上で過去に生きただけの人に学ぶという事が、非常に大切だったんじゃないかと思つています。 安岡 本を読むと、その人の大体的な考え方が分かりますよね。 安岡 学んで来たことを、過去の人ほどなんぶうに実践してきたのか知ることが出来たかも知

安岡 祖父が「小さい子が幼いから幼稚園というの、大人を感ぜられる場面がいくつもあり、指示されない出来事がないのは、自主的に出来事への助けを要するとか、理屈ではなく自然に理解して、それを何の気負いもなく行動に移せる子になっていくの、それは嬉しく思います。 安岡 論語で一番大切なのは、仁（思いやり）と繰り返して、二十五年前の孔子先生は「思いやりのない人はダメなんだ」と弟子に言っていました。どんなに勉強ができて知識があつても、それを自分の生活に活かさない人はダメだし、それだけで仁がない人もダメだし、人間が一番大切なものは必ず仁がベースにあつて、その上に知識とか技能だとか、そんなものが重なっていくから、「仁を忘れちゃダメだ」という事と、「自分で考えられる人になりなさい」ということ。二つは、いつも言っています。 安岡 山口県の高尾小学校の生徒は「二期期」で、吉田松陰の言葉を毎朝継続して唱和するんです。というところは、一年間三つ、六年間で合計十八の言葉を覚える訳ですが、その言葉を見てもいいんですが、非常に難しいんです。しかし、中学までに覚えた言葉は、一生忘れません。だから、子供の時の知識は大事なんですよ。 安岡 先日新聞に、子供が万引きで補導された記事がありまして、調査を取って警察から子供を迎えに来るよう電話をかけた際の親御さんの返事は「万引きで逮捕されたのだから、何が理由をつけて止めさせようとしたんです。私の世代は、ギリギリ親が戦争体験をしていないが、ちよと若くないと親御さんも戦争を知らないと戦後世代です。そうすると、今の幼稚園や小学生の子の祖父も戦争を知らない世代で、触れることがより一層減りまして、私たちが、例え学校でなくても、祖父や父から彼ら

安岡 祖父が「小さい子が幼いから幼稚園というの、大人を感ぜられる場面がいくつもあり、指示されない出来事がないのは、自主的に出来事への助けを要するとか、理屈ではなく自然に理解して、それを何の気負いもなく行動に移せる子になっていくの、それは嬉しく思います。 安岡 論語で一番大切なのは、仁（思いやり）と繰り返して、二十五年前の孔子先生は「思いやりのない人はダメなんだ」と弟子に言っていました。どんなに勉強ができて知識があつても、それを自分の生活に活かさない人はダメだし、それだけで仁がない人もダメだし、人間が一番大切なものは必ず仁がベースにあつて、その上に知識とか技能だとか、そんなものが重なっていくから、「仁を忘れちゃダメだ」という事と、「自分で考えられる人になりなさい」ということ。二つは、いつも言っています。 安岡 山口県の高尾小学校の生徒は「二期期」で、吉田松陰の言葉を毎朝継続して唱和するんです。というところは、一年間三つ、六年間で合計十八の言葉を覚える訳ですが、その言葉を見てもいいんですが、非常に難しいんです。しかし、中学までに覚えた言葉は、一生忘れません。だから、子供の時の知識は大事なんですよ。 安岡 先日新聞に、子供が万引きで補導された記事がありまして、調査を取って警察から子供を迎えに来るよう電話をかけた際の親御さんの返事は「万引きで逮捕されたのだから、何が理由をつけて止めさせようとしたんです。私の世代は、ギリギリ親が戦争体験をしていないが、ちよと若くないと親御さんも戦争を知らないと戦後世代です。そうすると、今の幼稚園や小学生の子の祖父も戦争を知らない世代で、触れることがより一層減りまして、私たちが、例え学校でなくても、祖父や父から彼ら

安岡 祖父が「小さい子が幼いから幼稚園というの、大人を感ぜられる場面がいくつもあり、指示されない出来事がないのは、自主的に出来事への助けを要するとか、理屈ではなく自然に理解して、それを何の気負いもなく行動に移せる子になっていくの、それは嬉しく思います。 安岡 論語で一番大切なのは、仁（思いやり）と繰り返して、二十五年前の孔子先生は「思いやりのない人はダメなんだ」と弟子に言っていました。どんなに勉強ができて知識があつても、それを自分の生活に活かさない人はダメだし、それだけで仁がない人もダメだし、人間が一番大切なものは必ず仁がベースにあつて、その上に知識とか技能だとか、そんなものが重なっていくから、「仁を忘れちゃダメだ」という事と、「自分で考えられる人になりなさい」ということ。二つは、いつも言っています。 安岡 山口県の高尾小学校の生徒は「二期期」で、吉田松陰の言葉を毎朝継続して唱和するんです。というところは、一年間三つ、六年間で合計十八の言葉を覚える訳ですが、その言葉を見てもいいんですが、非常に難しいんです。しかし、中学までに覚えた言葉は、一生忘れません。だから、子供の時の知識は大事なんですよ。 安岡 先日新聞に、子供が万引きで補導された記事がありまして、調査を取って警察から子供を迎えに来るよう電話をかけた際の親御さんの返事は「万引きで逮捕されたのだから、何が理由をつけて止めさせようとしたんです。私の世代は、ギリギリ親が戦争体験をしていないが、ちよと若くないと親御さんも戦争を知らないと戦後世代です。そうすると、今の幼稚園や小学生の子の祖父も戦争を知らない世代で、触れることがより一層減りまして、私たちが、例え学校でなくても、祖父や父から彼ら

安岡活学塾 銀座・寺子屋こども論語塾 専任講師 安岡定子 代表 島善昭 「経済は片手に“ソロバン”片手に“論語” 君子は義に悟り 小人は利に悟る」